

就職活動体験記

大澤 紗都 (法学部政治学科)

1 自己紹介

私は司書を目指して就職活動を行い、最終的にとある機関の図書系職員として採用を頂くことが出来ました。そこで、私が経験した就職活動について記したいと思います。

2 司書を志望したきっかけ

私が司書職を志望したそもそものきっかけは、大学で司書課程を履修し、「図書館概論」の授業で図書館のイメージが変わり、司書への憧れが強くなったからです。さらに、大学図書館を利用して図書館サービスの多様さを知り、かつ、それを体感し、私も図書館サービスを行うことで世の中に貢献したいと思いました。

3 志望先を司書職（公務員）に決定した理由

大学2年次の秋ごろに就職活動について考えた際、真っ先に思い浮かんだ志望先が司書でした。最初から視野を狭めてはいけないと思い、民間企業の就職ガイダンスや合同説明会にもいくつか参加しましたが、司書になりたいという気持ちは変わらず、むしろ、図書館関係の説明会に参加する度にその気持ちが強くなっていきました。そして、私は3年次の夏頃に司書を目指して就職活動を行うことを決めました。また、私は大学図書館の司書を第一志望として考えていたため、正規の司書職に就けるよう、司書職の公務員試験を受験する方法をとることにしました。

ただ、司書職の募集は非常に少ないため、保険として司書とは関係のない民間企業の就職活動も並行して行うかどうか迷いました。しかし、公務員と民間企業との二足の草鞋ではどちらも中途半端になってしまうと思い、リスクはありますが公務員に一本に絞って就職活動をしよう決めました。

4 志望先決定から試験までの流れ

司書職に志望を決めた後、まず公務員試験の勉強をするために予備校に通いました。私が予備校に通い始めたのは大学3年次の9月でした。公務員を目指す友人のほとんどは6月頃から勉強を始めていたので、出遅れたと感じました。さらに、公務員試験の勉強は9月から少しずつやっていたのですが、4年次1月末まで大学の授業と試験、4月末までサークル活動を行っていたため、本腰を入れられたのは5月からでした。

公務員試験の勉強を始める時、教養科目のみで対策するか、専門科目（法学や経済学等）も対策するか悩みました。なぜなら、司書職の試験は教養科目のみ（図書系の専門科目はありません。）で受験が可能です。都道府県庁や政令指定都市の市役所などの試験ではほとんどの場合、専門科目の対策が必要になります。悩みましたが、司書職の試験を万全な状態で受験したいと思ったことや、勉強開始時期が遅いこと等を鑑みて、私は予備校では教養科目のみ対策することにしました。

また、試験勉強をしつつ受験先の情報収集を行い、どこを受験するか決めていきました。司書職の公務員試験を念頭に置き、ほかの試験は試験日程を参照しながら決めることにしました。私が受験したのは、図書館関係の試験を三つと教養科目のみで受験できる市区町村の

一般事務を2つの合計5つの試験でした。

受験の日程は、3年次の冬の段階では試験日程が未発表の団体が多く、昨年の試験日程を参考に受験の日程を考えました。最終的には、5～9月にかけて筆記試験が月2回程度になるように受験先を決定しました。公務員試験は基本的に土日に行われます（筆記試験のみ、面接は平日が多いです）。そもそも司書職の試験は頻繁にはないですし、試験を詰めすぎると対策が追い付かないと思い、上記のような頻度にしました。ただ、二次試験や面接（面接の日程は幅を持って設定されていることが多く、筆記試験の合格まで日程がわからないことが多いです。）が入り、6月中旬と8月初旬は連続して試験を受けることができました。

5 司書職の試験対策

試験の対策について述べようと思いますが、教養試験については各予備校等で対策可能かと思うのでここでは省き、司書職の試験特有になると思われる、①専門試験（図書系）、②英語試験、③面接試験について述べたいと思います。

①専門試験(図書系)

司書課程の先生に対策方法を伺い、まずは後藤敏行著の『司書もん：図書館職員採用試験対策問題集』の1～3巻と日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編の『図書館情報学用語辞典』を用いて勉強しました。私は本を読むよりも問題を解く方が効率良く頭に入るので、司書もんをとにかく繰り返し解きました。司書もんの問題に慣れてきたら、過去問を解きました。回答は公開されていないため、上記の参考書に加え、授業の教科書、プリント、各データベースを検索することで答え合わせをしました。

専門試験を受験してみて、地方自治体の試験はやや易しく、国立国会図書館、国立大学法人等職員の試験は難しく感じました。ただ上記の対策をしていれば全く手が出せないということはないと思いました。特に地方自治体の試験は初見の問題はほぼなかったのも、司書もん等の内容が頭に入っていれば解ける問題だと思いました。

②英語試験

国立国会図書館の総合職、独立大学法人等職員の図書系職員には英語の問題が出てきます。私は他の試験の対策に手一杯で英語の問題に対して勉強する時間は十分に取れませんでした。隙間時間に高校時代の単語帳を見直すこと、また、過去問で出題された図書館用語の英語での言い方を覚えて対策をしました。

国立国会図書館の英語試験は問題が公開されておりませんが、私が受験した感触としては大学入試の長文問題に似ているように感じました。

③面接試験

対策として、まず受験先の情報収集と自己分析をしました。そして、その受験先で働きたい理由と自己分析の裏付けとなるエピソード（私はサークル活動を中心に話しました。）を整理し、分かりやすく話すことが出来るように面接練習を重ねました。

私が受験した面接試験は全て個人面接で、集団面接、グループディスカッション等の他の受験生と共に受ける試験はなく、圧迫面接やあまりに予想外な質問もほばないように感じました。また、面接ではほば毎回英語をどの程度使えるか質問され、英語が重要視されている事を身にしみて感じました。

6 情報収集

受験先の決定や面接試験等の対策として各受験先の情報を集めることはとても重要だと思います。私が情報収集として行ったのは、(1)説明会へ参加する、(2)図書館を見学する、(3)先輩に話を聞く、(4)年報を確認する、(5)Twitter で最新情報を得る、の主に5つを行いました。

(1) 説明会に参加する

3年次の秋頃から行われる東京大学法学部緑会主催の官庁等講演会と4年次の春頃行われる各受験先主催の説明会に参加しました。説明会への参加は、受験先の概要等の公式情報を得られる事が強みだと思います。また、各受験先主催の説明会や座談会では、その場で働いている人のお話を聞くことが出来、質問も自由に受け付けて頂きました。

(2) 図書館を見学する

実際に受験先の図書館に足を運び、図書館の様子を見学しました。その際、見学会等でなく一般利用者として普段の図書館を見るようにしました。掲示物や場の雰囲気、施設の使い勝手等、行かなければ知ることが出来ない情報を得ることが出来ました。また、試験勉強のため室内にこもりがちになってしまう受験期に図書館の見学へ行くことは良い気分転換にもなりました。

(3) 先輩に話を聞く

私はゼミの友人に「サークルの先輩に図書館に勤めている方がいる。」と聞き、友人を介して、現職の司書として働く先輩からお話を伺う機会を得ました。説明会等では聞きにくい事柄や先輩が経験した就職活動のお話を伺うことが出来ました。私がお話を伺った先輩は、丁寧に、かつ、話しにくいような事柄まで教えて下さり、司書職を受験する事、また、司書として働く事について考える上で、とても刺激になりました。

ただ、お話を伺えたこと自体はとても有意義だったのですが、私の場合、2点反省点があります。1点目は、お話を伺った時期が7月と半分以上の試験を受験した後だったため、もっと早い段階でお話を聞けていればと思ったことです。2点目は、お話を伺った先輩は就活期に「中村先生から司書の先輩を紹介して頂いた。」とお話しされており、今回たまたま友人に紹介してもらえたから良かったですが、もっと自分から積極的に先生を頼ればよかったと感じたことです。

(4) 年報を確認する

年報とは、1年間で行ったことをまとめた報告書です。司書職を受験する際年報は、1年を通してその図書館が何をしているのか、何に力を入れているのかを知る為のツールとしてとても優秀だと感じました。大体の図書館は年報を作りそれをホームページ等で公開しているので、受験先の年報は1度確認すべきだと思います。

(5) Twitter で最新情報を得る

上記の(1)～(4)は受験先ごとの情報を得るために行いましたが、(5)は図書館業界全般の情報を得る手段として活用しました。実際に行ったこととしては、『国立国会図書館「カレントアウェアネス・ポータル」公式』等、図書館の情報が得られそうなアカウントをフォ

ローし、図書館業界の最新情報を得られるようにしました。

ただ、4年次になってからチェックをするようにしたため、最新情報についていけないと感じることも多々ありました。

7 最後に

私は司書職を目指し、ほとんどそれ1本に力を注いで就職活動を行いました。それは「1度しかない新卒で好きな職業に就きたい。」という気持ちが許される環境下であったからこそ出来たことだと思います。私の気持ちを尊重し、支えてくれた両親や先生方、先輩、友人には心から感謝しています。

悩むことばかりの就職活動ですが、この私の経験が司書を目指している人や司書になろうか悩んでいる人にとって、少しでも参考になれば嬉しいです。

参考文献

後藤敏行『司書もん：図書館職員採用試験対策問題集 第1巻』図書館情報メディア研究会，2014.

後藤敏行『司書もん：図書館職員採用試験対策問題集 第2巻』図書館情報メディア研究会，2014.

後藤敏行『司書もん：図書館職員採用試験対策問題集 第3巻』図書館情報メディア研究会，2015.

日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典』丸善出版，2014.